

地域を耕し「規模拡大・収量確保・高品質米生産」の三本柱で
成長し続ける大規模稲作経営

株式会社耕成 代表取締役 石山一穂（東根市）

1 受賞者の概要

代表の石山一穂氏は、平成10年の就農以降、水稻の経営規模を拡大しながら、収量と品質を両立した収益性の高い米づくりに取り組んでいる。

令和2年に「株式会社 耕成」を設立し、外部雇用やスマート農業技術の活用により規模拡大を進めるとともに、地域の農地の担い手として、山形つや姫マイスター、山形県指導農業士、東根市農業委員等を務める、地域農業のリーダー的存在である。



(株)耕成 従業員一同

2 特色ある活動

(1) 省力・低コスト栽培

「はえぬき」作付面積の約30%で直播栽培を導入し、移植栽培と同等の収量を確保している。

(2) 収量と品質を両立した収益性の高い水稻栽培

適期作業と栽培管理の徹底により、規模拡大しながら全品種で600kg/10a以上を確保するとともに、1等米比率100%の高品質米を生産している。

(3) 「つや姫」のブランド化や新品種導入への貢献

代表の石山氏は、平成23年から山形つや姫マイスターとして、ブランド確立や栽培技術の向上に貢献している。新品種の試験栽培にも協力している。

(4) スマート農業技術の活用

営農管理アプリ「アグリノート」、「Growth eye」、積算温度遠隔センサーによる生育診断等を導入し、圃場管理や従業員との情報共有に活用している。

(5) 冬期間の雇用創出

育苗ハウスを利用したほうれんそう栽培及びふるさと納税等の精米販売により、冬期間の雇用を創出し、季節雇用の従業員を正社員として登用している。

(6) 指導農業士としての担い手育成

農林大学校先進農林業者等体験学習の研修受け入れ、新規就農者や就農予定者に対する指導助言を行っている。

(7) 農地保全を通じた地域貢献

耕作放棄地等の解消に積極的に取り組むとともに、農業委員として条件不利地を率先して借り受け、農地保全と農村景観の維持に貢献している。

3 今後の発展方向

新規学卒者等の外部雇用の確保・育成、農地保全と農村景観の維持による地域貢献、規模拡大に伴う事業計画の見直しや新技術の導入等による経営改善と会社の成長・発展に取り組む。